

令和7年度

医療安全管理室 主催研修

第1回医療安全管理研修

研修日時: 令和7年7月16日～8月5日

テーマ・講師:

- ・令和6年度 インシデント報告集計等
副院長 医療安全管理室・室長
- ・うまくいったことに目を向けてみよう
～セーフティIIで育てる安全文化～
専従医療安全管理者

受講者数: 853名 / 853名

受講率: 100%



第2回医療安全管理研修

研修日時: 令和7年11月18日～12月16日

テーマ: PSP教育動画6つのテーマから各自選択

- ① チームで取り組む身体拘束最小化と患者安全の考え方
- ② エコーを用いた末梢静脈カテーテル留置がもたらす「安全」
- ③ STAMP / STPA手法の考え方
-コミュニケーションエラーをなくしていくために-
- ④ 病院における転倒・転落予防のポイント
- ⑤ 病院の全職員が知っておくべき職場のメンタルヘルスケアの基本
- ⑥ 医療安全に必要なDNARの基礎知識

受講者数: 861名 / 861名

受講率: 100%

ISBARC研修

良好なコミュニケーションが患者の安全を守る

研修日時: 令和7年7月17日

講師: 皮膚科部長

参加者数: 37名

参加職種: 研修医 看護師 コ・メディカル

ファシリテーター: セーフティマネージャー
医療安全作業部会員

10月3日はハイリスク薬の日

研修日時: 令和7年10月3日~10月31日

テーマ: 持参薬のインシデント対策~その後~

講師: 薬剤部長

受講者数: 460名 / 638名 全体72.1%

(看護師100%)

ImSAFER研修

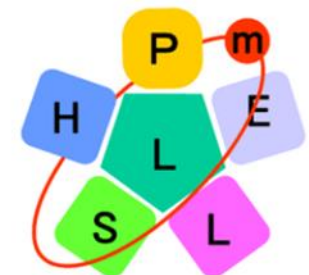
事故の構造に基づく分析手法
ImSAFERをやってみよう

研修日時: 令和8年2月7日

講師: 外部講師

参加者数: 29名

参加職種: 看護師 コ・メディカル 事務部門



ISBARC(SBAR)
アイエスパーシー/アイエスパーク

緊急事態や早急に回答がほしい場合に、自分の思いや悩みを確実に発信しないと相手はその重要性を受け入れてくれないという前提を理解し、具体的、明確に自分の考えや希望も含めて表現する方法です。

Identify	報告者 患者は誰
Situation	患者に何がおこっているか
Background	患者の臨床的背景は何か
Assessment	問題に対する自分の考えは何か
Recommendation	問題に対する自分の提案は何か
Confirmation	承諾・復唱

Identify 報告者・対象者の同定	「7階末病棟の看護士OOです。」 「△△先生の患者さんで、710号室の●●さんについてです。」
Situation 状況・状態	「突然気絶を訴え、心電図をとったらST上昇しています。」
Background 背景・経緯	「狭心症で○月●日にPCI予定の機楽さんです。夕飯後に胸痛を訴え出しました。」 「血圧140/82、脈拍8-110、SpO2は92%です。」
Assessment 判断・評価	「入院時の心電図と比較して、II・III・aVFでST上昇を認めます。下壁虚血の可能性があると考えられます。」
Recommendation 提案・依頼	「すぐに診察をお願いします。」 「録音開始しますか?」 「採血とルート確保の準備をします。」 「別の大机室なので、机室室に移動します。」
Confirm 復唱確認	「ラクトックでルート確保、酸素3L開始ですね。」

院内BLS研修



対象

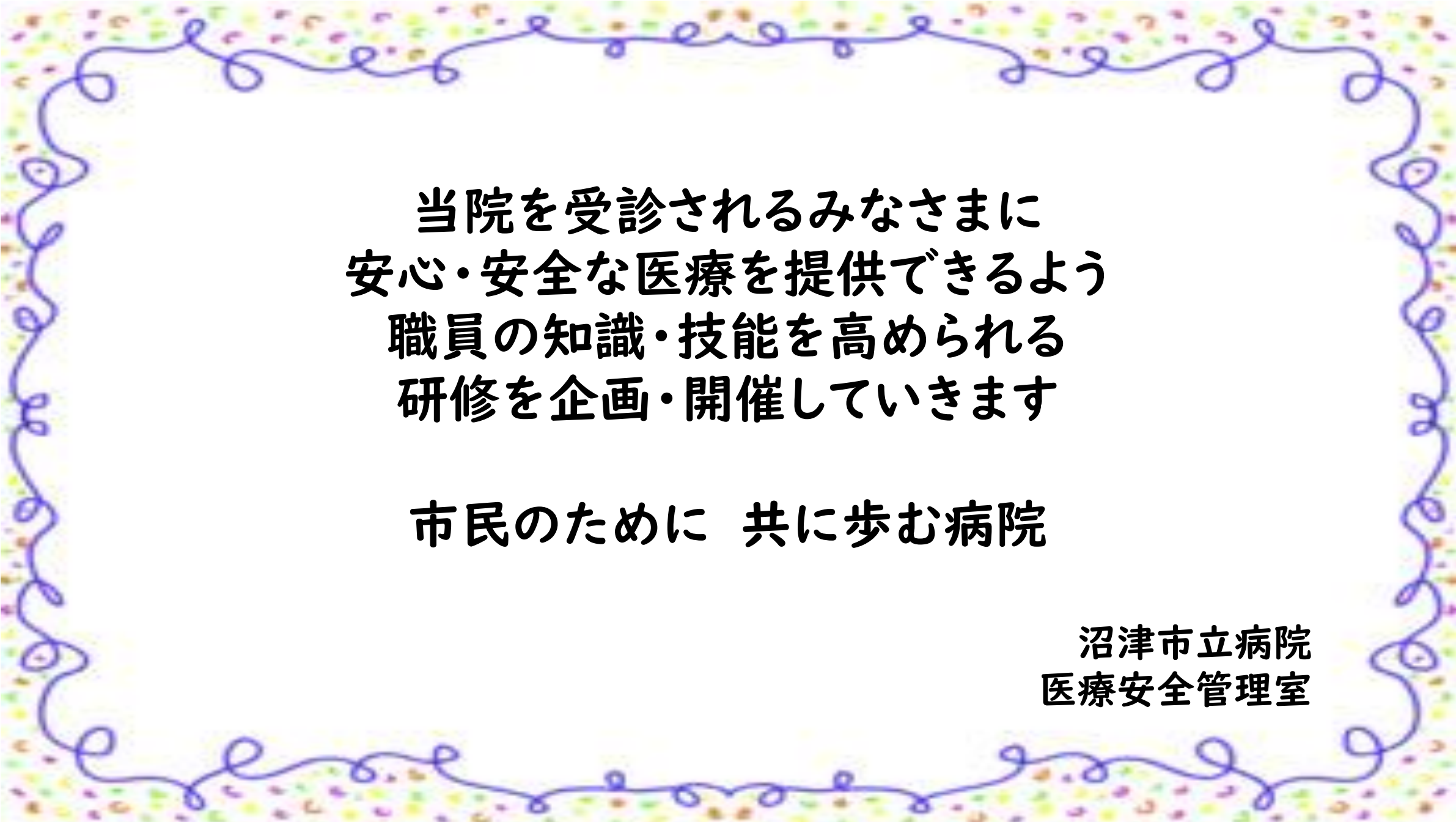
- ・医師 ・薬剤部 ・看護部主任看護師 ・放射線科 ・臨床工学科 ・臨床検査科
- ・リハビリテーション科 ・栄養管理科 ・病院管理課 ・医事課 ・病院施設課

第1回	5月28日	31名
第2回	8月28日	36名
第3回	9月10日	35名
第4回	10月23日	29名
第5回	11月20日	22名
第6回	令和8年 2月27日	15名

看護部（病棟部門・外来部門）各部署にて適宜実施

令和7年度院内BLS研修受講者合計 350名





当院を受診されるみなさまに
安心・安全な医療を提供できるよう
職員の知識・技能を高められる
研修を企画・開催していきます

市民のために 共に歩む病院

沼津市立病院
医療安全管理室